

国立大学における男女共同参画推進の実施に関する 第9回追跡調査について

一般社団法人 国立大学協会
教育・研究委員会 男女共同参画小委員会



国立大学協会では、大学における女性の雇用等の実情把握のための調査資料の整備、共通のデータベースの構築、各大学への情報提供を目的として、『国立大学における男女共同参画推進の実施に関する追跡調査』を実施しており、2001年以降これまで9回の調査を実施してきました。

また、2011年2月には『国立大学における男女共同参画推進について－アクションプラン－』（以下アクションプラン）を策定し、大学が取り組むべき事項について、提言しました。

このたび、第9回目の調査結果をとりまとめましたので、公表いたします。

（報告書の全文 <http://www.janu.jp/img/files/danjiyohoukokusho9web.pdf>）

アクションプランで掲げた達成目標

国立大学の女性教員比率を20%に引き上げることを目指しつつ、少なくとも2015年までに17%以上（各大学において1年ごとに1%以上）に引き上げることを達成目標として設定する。

（アクションプラン本文 <http://www.janu.jp/active/txt5/danjiyo110210.pdf>）

第9回追跡調査結果（2012年7月実施）の概要

男女共同参画の現状（統計調査）

○女性教員比率が増加した大学数等

アクションプランの達成目標である女性教員比率17%を超えた大学は86大学中22大学あり、大学別女性教員比率の平均は約15%*となりました。前回の調査結果と比べ、その数は増加しており、各大学において懸命な取組が行われています。

※大学別女性教員比率の平均＝各大学における女性教員比率の合計／大学数（86大学）

女性教員比率	第8回（2011）		第9回（2012）
17%以上	20 大学	→	22 大学
〔15%以上	35 大学	→	40 大学〕



○女性教員比率が1%以上、女性教員数が10人以上増加した大学

◇前年度より女性教員比率が1%以上増加した大学 21 大学

東京外国語大学（2.2%増）、山梨大学（1.9%増）、福島大学・奈良教育大学・愛媛大学（1.7%増）、
東京医科歯科大学・京都教育大学（1.6%増）、東京学芸大学・神戸大学（1.5%増）、島根大学（1.3%増）、
名古屋大学・滋賀大学・鹿児島大学（1.2%増）、広島大学（1.1%増）、
北海道大学・北海道教育大学・岩手大学・東京芸術大学・大阪教育大学・九州大学・熊本大学（1.0%増）

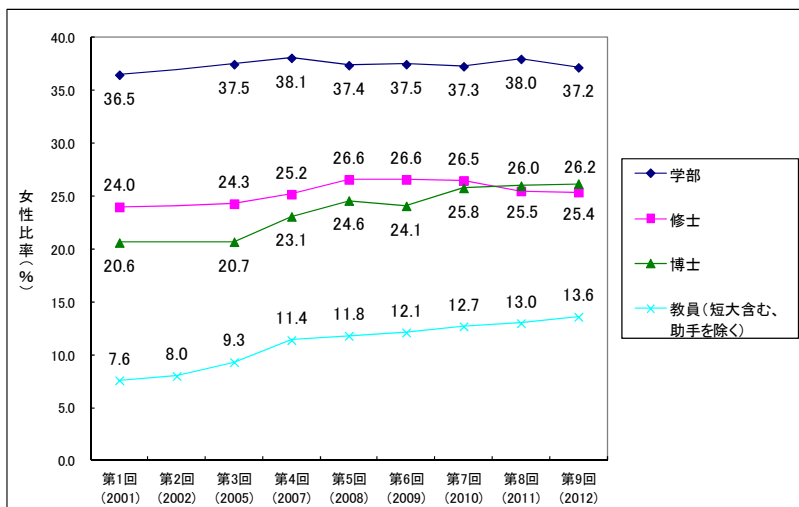
◇前年度より女性教員数が10人以上増加した大学 15 大学

名古屋大学（33人増）、京都大学（26人増）、広島大学（23人増）、九州大学（21人増）、
北海道大学・神戸大学（20人増）、山梨大学・大阪大学（16人増）、東北大学・愛媛大学（15人増）、
東京医科歯科大学・鹿児島大学（14人増）、東京外国語大学（13人増）、
島根大学（12人増）、熊本大学（11人増）

○大学における女性比率推移

一方で、国立大学における女性教員数の比率は13.6%※と、前回調査から0.6%増となっています。今後もアクションプランの目標到達（2015年までに17%以上）に向けて、男女共同参画に係る取組を推進していきます。

※国立大学における女性教員数の比率＝国立大学女性教員数（助手を除く）／国立大学教員数（助手を除く）



＜第9回追跡調査集計値＞

・女子学生 学部卒業者 37.2%
 修士課程修了者 25.4%
 博士課程修了者 26.2%

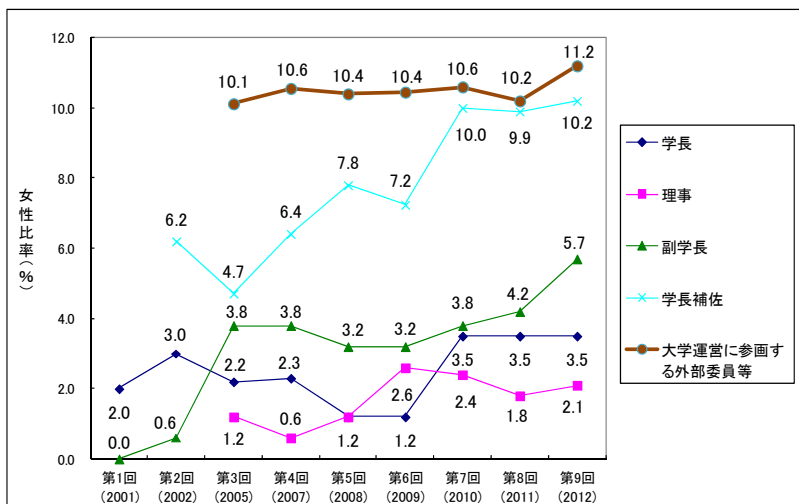
・女性教員（助手を除く） 13.6%

※第2回調査では学生について調査を行っていない

※第4回調査からは学校教育法の改正により従来の助手が「助手」及び「助教」に分けられ、助教がデータに含まれるようになった

○大学の意思決定過程における女性比率

学生・教員における女性比率よりも、全体的に低い値となっており、アクションプランにおいても大学が取り組むべき事項として、『大学運営における意思決定過程への女性の参画の拡大』を提言しています。



＜第9回追跡調査集計値＞

・学長 3.5%
 ・理事 2.1%
 ・副学長 5.7%
 ・学長補佐 10.2%
 ・大学運営に参画する外部委員等 11.2%

※理事については法人化（2004年）で新設された職のため第3回（2005年）から調査

※第1回調査では学長補佐について調査を行っていない

※法人化前の外部委員等については割愛

アクションプランを踏まえた各大学の特に成果を上げた取組

今回の調査では、前回調査時点（平成23年5月1日）以降、アクションプランを踏まえて新たに始め、特に成果を上げた取組等について自由記述で確認を行いました。

主な取組事例は以下のとおりです。

（取組事例）

- ・女性研究者支援室を、学内における常置組織として整備し直し体制を強化
- ・女性研究者のロールモデル誌を作成し、県内の高校に配布
- ・研究支援者の配置、インターネットによる在宅研究支援システムの運用、女性優先休憩室の整備等
- ・男性の育児家事参加促進事業の一環としてのワークライフバランス研修を学内で実施

当協会のウェブサイトにも男女共同参画関係ページを開設しました！
 アクションプランや追跡調査報告書がダウンロード可能です。

<http://www.janu.jp/post.html>